

特集



女性を応援します！

コスタリカから来て3人の子育て中。耳が聞こえなくてもカフエ経営。アラフォー世代の素敵な女性たち取材しました。

日本大好き、3人の子育てに仕事に奮闘中！コスタリカ人のママさん

東村山市に住むロベス・モラガ・サイリンさん（38歳）は中米コスタリカの出身。2008年3月、仕事のため先に来日していた婚約者と結婚するため、同年12月に初来日。田無市で結婚し、今では2男1女に恵まれて子育て真っ最中です。

6歳、3歳、1歳の子育てだけでも大変な中、サイリンさんは仕事にもがんばっています。武蔵境にあるマルセ・インターナショナルで、スペイン語教師を目指す人たちへスペイン語を教えています。

一方、夫の金城ガブリエル昭夫さん（42歳）は生まれも育ちもアルゼンチン。両親とも日本人ですが、アルゼンチン在住の日系。10年にわたりプロサッカー選手として、アルゼンチンやコスタリカ、エクアドルのチームで大

活躍しました。引退後はアルゼンチンサッカーコーチ協会でプロ指導者の資



サイリンさん夫妻と左から次男直輝くん、長男宏輝くん、長女尚美ちゃん



尚美ちゃんを愛してやまないサイリンさん

格（S級）を取得。この資格はプロチームの監督も可能なトップライセンスです。

現在は田無のレナトフットボールクラブ、世田谷区にあるアンソニーフットボールクラブのコーチとして、子どもたちの指導にあたり、通称ガビコーチ。サッカーの本場で培った技術を活かしています。

金城さんはもちろんスペイン語、日本語が話せますが、サイリンさんは来日当初全く日本語が話せず、苦労したそうです。ましてや出産、育児と異国での初体験はいかばかりだったでしょう。3人の子どもたちはすべて田無の病院で産みましたが、最初は健診



金城さんのプロ選手時代の雄姿

の際も身ぶり手ぶりのみ。長男の宏輝くんを保育園に入れた時も「保護者会では皆が何を話しているのか、全然わからなかった」と振り返ります。

長男が1歳の時から仕事を始めましたが、結婚前、母国で障がい児学級の先生をしていたサイリンさんにとって、社会に役立つ仕事をすることは当然のことでした。武蔵境まで週4日、40分かけて自転車を通っています。雨の日は1時間かかるそう。妊娠中も同様でした。長女の1歳半の尚美ちゃんは10カ月になるまで保育園に入れなかったため、自転車に乗せ一緒に7か月間通いました。「もうくタイヘンでした」そんな苦労もにこにこ語るサ

イリンさん。

女の子が欲しくて、結婚した頃から、名前は「尚美」と決めていました。ダンスが好きなサイリンさんは、尚美ちゃんに将来バレリーナになってほしいのだそう。パパは宏輝さんと次男の直輝くんには、やはりスポーツをやらせたいと言います。

取材日は宏輝くんの卒園式でした。3人を送り迎えた保育園も4月から2人になります。新一年生の宏輝くんは当初は学童保育には入れず、パパとママがシフトを組み、下校後はパパがサッカークラブへ連れて行ったり、夫婦協力体制で子育てします。家ではスペイン語なので、宏輝くんは早やバイリンガル。英語もママの勤務先に習いに行っています。

サイリンさんは勤務先でも家でもスペイン語なので、「日本語が上手にならないの。日本の友だちと日本語で話したいけど、うまく話せなくてハズカシイ。漢字が大好きで5000の漢字が読めます。でも書くのムズカシイ」。日本食も刺身、寿司、焼き焼き、お好み焼きが大好き。味噌汁は毎日作っています。

子どもたちが成長したら、自閉症など障がいを持つ日本の子どもたちの助けをしたいと、目を輝かせます。優しく嬉しいサイリンさんと、爽やかで

面倒見のいいガブリエルさんのベストカップル。やんちゃ盛りの男の子二人に可愛い尚美ちゃん。この一家にエールを送りたくります。きつと子どもたちは国際舞台で活躍する大人になることでしょう。

「お休みにやりたいことは」と訊ね

「聞こえない」「聞こえる」違いを受け容れ、人々が交流するカフェ

小平市鈴木街道沿い、鈴木2郵便局近く「Sign Café very you（サインカフェベリユー）」は昨年3月オープン。ゆったりできる雰囲気の良いと美味しいカフェメニュー、そして何より店長の素敵な笑顔が人を呼び、1年で街の人気店になりました。

と「うん、今は寝たい（笑）」。これが本音ですよ。この日は卒園式と謝恩会に出たあと、その足で仕事に行き、夜7時に帰宅、その後取材という過密スケジュール。にもかかわらず、終始笑顔で話してくれました。元気でガンバってください！

店長の廣田かおりさん（39歳）は生まれつき耳が聞こえません。接客の際は口の動きで大体わかるそうですが、筆談でもOKですし、もちろん手話ができるベストです。この日は知人が手話通訳を引き受けてくれて、インタビューしました。

かおりさんは石川県の出身。カフェを開く前は、結婚式もできるような都



広々とした店内、奥がまちライブラリー



カフェ入口で、かおり店長



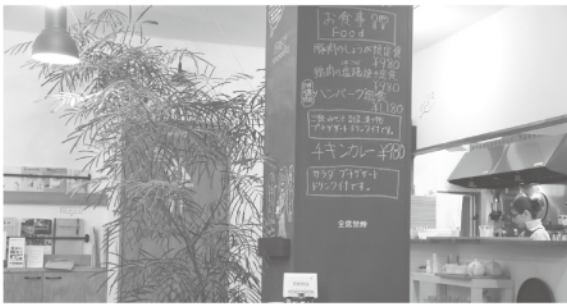
手話で説明中

心のイタリアンレストランに勤め、マナーや接客を学びました。パートナーであるマスター、喜多見元昭さんは健聴者ですが、そのレストランの料理人でした。二人で念願の店を持ちたいと物件を探し、ワンフロアーで厨房ともコミュニケーションしやすい、今の場所に決めました。

驚いたことに、店内の木のテーブルも内装も全部手作り。「私がアイデアをだして、マスターが作業しました。私もちょっとは手伝ったけど」と茶目つきたっぷりに笑う店長。5ヶ月もかけて仕上げた店内は、白い壁面とダークブラウンのイスがシックな雰囲気を出しています。そんな中にも小粋な工夫と配慮がいっぱい。



上) 鶏もも肉の塩こうじ焼き定食(ドリンク付/980円)
下) 柱に書かれたメニューとねむの木



ライブラリーに置かれたベリーユーノート



贈も募っています。そして、「モノコトマルシェ」とネーミングした、お金を使わずにモノやコトを交換する市場も始めました。例えば読み終わった本を他の人の本と交換する。料理レシ

店のシンボル、ねむの木横の柱には黒板のようにメニューが書いてあり、おすすめの本がオブジェのように壁に架けられています。2つあるトイレのドア上の照明は使用中、自動的に点灯します。壁に直接マザーテレサの言葉や、吹き出しの中に文字が書かれているのもユニーク。テーブル6席の間はゆったりと広く、車イスでの移動も楽々です。

ランチタイムだけでなく、7時30分まで、午後は何時でも食事ができ、メニューはできる限り国産の材料を使っています。「鶏もも肉の塩こうじ焼き定食」を頂いてみました。鶏肉が柔らかくてジューシー。味噌汁も煮ものもデザートも丁寧に作られたことがわかる味。ドリンク付きで、ハンドドリッブでいたおいしいコーヒーもたっぷり味わえました。モーニングサービスとして朝9時から10時30分まで、ドリンクをオーダーすると、厚切りトーストと目玉焼きが無料でついています。

店名の「very you」には「あなたらしい」という意味があるそう。お客さんに自分らしい時間をゆっくり過ごしてもらおうと、書架コーナーがあちこちにあり、手話の本、心が元気になる本や雑誌を自由に読めます。個人の



壁に架けられた本

小平市鈴木町2-187 吉田ビル1F
☎042(497)6650
☎9時~20時 月曜定休

壁を教えるコトと知りたいたい手話表現のコトとの交換など。「少しずつゆっくりやりたい」とかおりさん。
子育てママ、高齢者、近所の人、壁の人など幅広い人々が来店します。店内にあるA4判の「ベリーユーノート」を広げると、「のんびりできて、帰りたいくない」「学生時代に覚えた手話をまた勉強したい」「近所にこんなカフェができてうれしい」「店長さんの笑顔にハッピーな気持ちでいっぱいになどなど感想が記されています。中には絵やイラストも。
「いつも来てくれるおじいさんが、ある日『おもしろかった』と手話で表現してくれてびっくり。本当にうれしかった。手話や聞こえないことに関心を持ち、受けいれてもらって、このカフェを開いて良かったと思います」
と同時に、かおりさんは耳が聞こえない人々だけでなく、障がいを持つ人々に可能性を広げる勇気を与えています。実際、向かい合いその柔らかなスマイルに接すると、言葉の壁なんか吹き飛んでしまう気がします。聞こえても、聞こえなくても、お互いの違いを受け容れ、価値を認め合うカフェの存在は、これから地域にさまざまな刺激を与え、新しいつながりを生み出していくことでしょう。